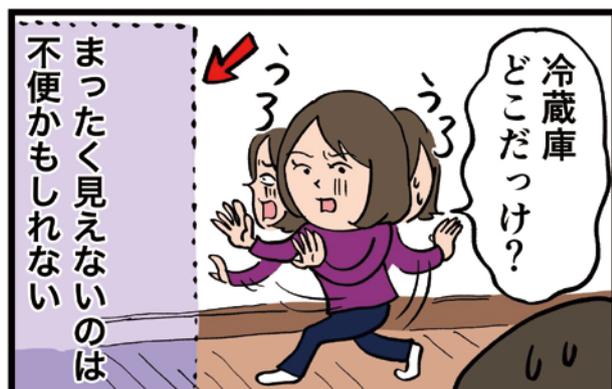
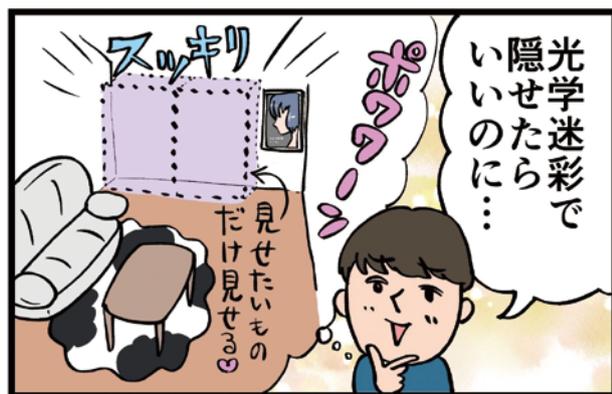


IT日和

イラスト 山本コウカ

vol/46. オシヤシな部屋



冷蔵庫とかタンスの裏のホコリだけ見えてることだとすると恐ろしいですね(野ヶ山編集委員)

App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod touch といった iOS 端末から読むことができます!



ダウンロード無料
情報処理学会



アプリのダウンロードはこちら(無料)



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪

自分に合った分野が見つかりそう!

詳しくは <https://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

CONTENTS

Preface

- 102 **Digital Device, I Want to It Can be Usable for Everyone, The First Day as a User**
Masako WAKAMIYA (NPO Broadband School Association / Mellow Club)

Special Article

- 104 **On Predatory Journals and Conferences : A Muddy Stream beside You**
Toshikazu WADA (Wakayama Univ.)

Special Features

IoT to Change the World

- 110 **0. Foreword**
Mikiko SODE TANAKA (International College of Technology, Kanazawa)
- 112 **1. IoT for Daily Use : Present and Future**
Shinji SIMOJO (Osaka Univ.), Shinsuke AKASAKA, Yuichiro TABUCHI and Ittetsu TAGUCHI (Ministry of Internal Affairs and Communications)
- 116 **2. Take Advantage of IoT/ICT in the Nursing Care Field - Revolution in the Nursing Care Industry by Utilizing IoT/ICT -**
Takuma YAMAMOTO and Osamu SASAI (Kanamic Network Co., Ltd.)
- 121 **3. IoT Service to Support the Fishery Industry - Uwa Sea's Sea Status Information Service `You See U-Sea' -**
Shinya KOBAYASHI (Ehime Univ.)
- 127 **4. 6-Party Agreement for Cultivating Nori Seaweed with IoT, AI, and Robots**
Keiichi YOKOYAMA (OPTIM Corp.)
- 131 **5. Pig Farming Management to Survive**
Yoshio UTSUMI and Katsumi HARADA (DATA HORIZON Co., Ltd.)
- 135 **6. IoT Children Observation System - Construction of a Safe and Secure Society -**
Mikiko SODE TANAKA (International College of Technology, Kanazawa) and Takahiro KATOU (NEC Solution Innovators, Ltd.)

Reports

- 142 **異能(Inno)vation Program**
Kai SATO (KADOKAWA ASCII Research Labs., Inc.)

Article

- 154 **Things You Should Know When Applying Data Science to Horse Racing**
Kengo TERASAWA (Future Univ. Hakodate)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 109 **Information Infrastructure Crisis on Hokkaido Eastern Iburi Earthquake**
Masashi FURUKAWA (Hokkaido Information Univ.)

Let's Learn Informatics

- 160 **Foreword**
Yasushi KUNO (Univ. of Electro-Communications)
- 161 **Why "Information Studies" ? - For Problem Solving**
Tsutomu OHARA (Tokyo Metropolitan Machida High School)

"Peta-gogy" for Future

- 173 **The Day When Learning Analytics becomes Common Sense**
Masako FURUKAWA (National Institute of Informatics)
- 174 **Human Resource Development Using Project - Based Learning with Real-World Problems**
Keiichi ENDO (Ehime Univ.)

- 159 **Gathering to Share Original Programming Projects for Junior**
- 167 **Regular Column**
- 168 **Biblio Talk**
- 170 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
- 178 **Conference Report**
- 179 **Conference Report**

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 160 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.60 No.1 (Jan. 2019)

【特集：未来の暮らしを支えるパーベイシブシステムと高度交通システム】

- 特集「未来の暮らしを支えるパーベイシブシステムと高度交通システム」の編集にあたって 河口信夫
- Scenargie as a Network Simulator and Beyond Mineo Takai 他
- センサーネットワークにおける分散型深層学習の設計と評価 福島悠太 他
- エンドツーエンド通信をアプリケーションレベルで可能にする通信ライブラリの実現と評価 納堂博史 他
- 無線ネットワーク TAP デバイスを用いた無線 LAN エミュレーションフレームワークの開発 加藤新良太 他
- モバイルネットワーク特徴量のクラスタリングによる Contextual Bandit Algorithm 出水 幸 他
- 動的遮蔽物を考慮した BLE による屋内位置推定手法の提案 星 尚志 他
- 配布型 BLE タグとタンデムスキャナを用いた屋内位置推定手法 浦野健太 他
- A Smartphone 3D Positioning Method using a Spinning Magnet Marker* Kosuke Watanabe 他
- 路側設置マイクロフォンを用いた逐次検出型車両検出システム 石田繁巳 他
- 交通状況把握のための運転行動の時系列性を考慮した車両挙動分析手法* 横山達也 他
- Classifying passenger and non-passenger signals in public transportation by analysing mobile device Wi-Fi activity Thongtat Oransirikul 他
- バス運行実績データの分析に基づく到着時刻予測モデルの提案と精度検証 今井 瞳 他
- リアルタイム人口を用いた Stacked denoising Autoencoders によるタクシー将来需要予測* 石黒 慎 他
- Vehicle Vibration Error Compensation on IMU-Accelerometer Sensor using Adaptive Filter and Low-Pass Filter Approaches Bondan Suwandi 他

【特集：全ての人とモノがつながる社会に向けたコラボレーション技術とネットワークサービス】

- 特集「全ての人とモノがつながる社会に向けたコラボレーション技術とネットワークサービス」の編集にあたって 塩澤秀和
- Hierarchical Clustering of OSS License Statements Toward Automatic Generation of License Rules Yunosuke Higashi 他
- Additional Operations of Simple HITs on Microtask Crowdsourcing for Worker Quality Prediction Yu Suzuki 他
- トランザクションの本人性を確認できる分散台帳技術の提案 加賀陽介 他
- InfoClip：日常生活空間中のオブジェクトへのリマインダ登録インタフェース 呉 健朗 他
- 遠隔買い物支援における複数視点と音声の位置 小松由和 他
- 穴あき用例と単言語話者作成の正確な用例とを活用した多言語用例対訳作成手法* 福島 拓 他
- 対面協調 Web 検索における情報共有通知のタイミング制御 是常雄大 他
- 在宅医療・在宅看護現場における、従事者の業務特性に特化した情報共有システムの研究 外塚雄也 他

- 遠隔音楽療法サービスの開発研究 山本尚子 他
- 活動情報に基づく東日本大震災における医療対応の考察—超急性期から亜急性期にかけての岩手県の9日間— 秋富慎司 他

【一般論文】

- フレーム間差分の累積を利用したスクリーンカメラ通信 山本純也 他
- 番組視聴と生活行動のスムーズな連携を可能にする行動連携システムと端末連携アーキテクチャ* 大亦寿之 他
- 秘匿検索の頻度分析対策としての複数 DB 活用について* 伊藤 隆 他
- 「関係の合成」の概念を用いた ISMS と ITSMS におけるリスクアセスメントの統合 松村宣顕 他
- 識別に悪影響を及ぼす変数の推定・影響排除が可能な autoencoder ベース識別器の提案 石井良尚 他
- Query Expansion for Microblog Retrieval Focusing on Ensemble of Features Abu Nowshed Chy 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(Jan. 2019)

【論文誌 プログラミング Vol.12 No.1】

- Evaluating Portable Mechanisms for Legitimate Execution Stack Access with a Scheme Interpreter in an Extended SC Language Masahiro Yasugi 他
- RL78 マイコン向け命令スケジューラによるパイプラインストールの削減 千葉雄司 他



【論文誌 データベース Vol.12 No.1】

- 叫喚ツイート抽出手法の拡張 熊本忠彦
- 検索ワード間の空間演算の提案と地図検索への応用 阪田晴香 他
- シミュレータによる動的ホワイトリストを用いたサイバーフィジカル型攻撃検知方式 立床雅司 他
- SQLite のファイル固定長化による更新処理時間の評価 藤井雄規 他
- A Reward Optimization Model for Decision-making under Budget Constraint Chen Zhao 他
- ウェブアクセスリテラシー尺度の開発 山本祐輔 他
- 批判的なウェブ検索を促進するクエリブラッキング 山本祐輔 他



【論文誌 コンピューティングシステム Vol.12 No.1】

- Enhancement of Algebraic Block Multi-Color Ordering for ILU Preconditioning and Its Performance Evaluation in Preconditioned GMRES Solver Senxi Li 他
- TP-PARSEC: A Task Parallel PARSEC Benchmark Suite An Huynh 他



【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.9 No.1】

- 構造化データを活用した教育向け Web サイト「りかまっぷ」の開発とコンテンツ提示方法の評価 浦川 真 他
- バリアフリーストリートビューシステムにおける傾斜情報提供方式の提案 三浦千里 他
- ECHONET Lite 搭載機器の相互接続性を阻害する家庭用ルータの実装状況調査, および相互接続性向上のための手法の提案 濱本望絵 他
- Estimation of Power Consumption of Each Application Considering Software Dependency in Android Shun Kurihara 他
- NTMobile を利用した ECHONET Lite 機器のセキュア遠隔制御システム 田中久順 他



【Transactions on Bioinformatics Vol.12】

- An Information Entropy-based Method to Detect MicroRNA Regulatory Module Yi Yang 他



● デジタルプラクティス掲載論文リスト

Vol.10 No.1 (Jan. 2019)

【特集：情報分野における標準の戦略と実践】

- 「情報分野における標準の戦略と実践」特集号について 伊藤 智, 吉野松樹, 細野 繁

【特集号招待論文】

- 国際標準化活動の戦略と戦術—文字情報基盤整備事業の国際標準化活動を例に— 小林龍生
- ISO/IEC JTC 1 での日本発データセンタ省エネ指標の国際標準化—欧米との考え方の違いを乗り越えての国際標準化— 椎野孝雄

- 開放系総合信頼性の標準化～CREST 研究プロジェクトと IEC 標準化の相互作用～

木下佳樹, 武山 誠, 中川雅通, 森田 直, 山浦一郎

- 情報分野における人間工学国際規格への取り組み 福住伸一, 氏家弘裕

- システムおよびソフトウェア品質の国際的な基準の確立—日本主導の国際標準化への取り組み— 込山俊博, 東 基衛

- 標準化活動を通して次世代へ伝えたいこと—IoT やスマートシティ国際標準化活動の経験と実践から— 櫻井義人

- 移動体データに関する国際標準 OGC Moving Features とその適用事例

林 秀樹, 浅原彰規, 石丸伸裕, 金 京淑, 柴崎亮介

- プロジェクト管理データの相互運用性を実現する PROMCODE 仕様の OASIS における国際標準化の経験 青山幹雄

- W3C の Web 技術国際標準化と今後の展望—日本発信の Web 標準策定のために— 芦村和幸

- <小林龍生氏・村田 真氏インタビュー>標準化の戦略とタクティクス

インタビュアー 伊藤 智, 吉野松樹, 平林元明

【特集投稿論文】

- 高度 IT 資格制度を対象とする国際規格 ISO/IEC 24773 掛下哲郎, 鷲崎弘宜

- 標準化団体のパテントポリシーと FRAND 宣言の透明性向上の提案 小林和人

- ISO22320 を活用した組織の危機対応力の可視化—チェックリスト比較とリスクコミュニケーション—

爰川知宏, 前田裕二, 秋富慎司, 天野明夫, 黄野吉博

- IETF が策定する国際化技術と IoT 技術国際化の課題 根本貴弘

【一般投稿論文】

- 非順序実行型データベースにより多次元配列データを管理するマテリアルズ・インフォマティクス・プラットフォームの開発

浅原彰規, 森田秀和, 海野英一郎, 池本 理, 小野寛太

- 社会福祉法人内の介護マニュアル統一を通じた知識発現の改良 西村悟史, 毛利陽子, 山中 泉, 中村美佳, 高山 薫, 西村拓一

- 行動センシングによる働き方パーソナルアドバイザーの設計と試行 辻 聡美, 佐藤信夫, 上垣映理子, 佐々木真美, 賀 暁琳, 矢野和男





今月の会員の広場では、11月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「異分野交流雑感」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■著書を通じてしか知らなかった先生だが、身近でお話を聞いているような錯覚をしました。著者とかかわりのあった人々の中に自分の知っている先生が含まれていたからです。また、言語処理屋さんの空気が感じられました。画像屋さんなどほかの分野の方には伝わるのでしょうか。空気感が文書に残ることを良い意味で感じました。(匿名希望)

小特集「ディープラーニング活用事例と使いこなしの勘所」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■さまざまな難題を乗り越えた様子が伝わってきました。励みになります。(外村高章)

■ディープラーニングを、関係がなさそうな業務でも使う可能性を感じ、参考になった。(林 勝彦)

■ディープラーニングの数多くの実用化事例を知り、AIのロジックに対する世界観が広がりました。(長山知由理)

■理論の分かりやすい説明だけでなく、業務に応用するための具体的なポイントまで書かれており、勉強になりました。研究室でも機械学習について考える機会が増えてきたので、知識を共有したいと思います。(高橋健大)

■巻頭で述べられていたディープラーニング技術の使いこなしに向けた課題は企業での活用を考える上でも共感できる部分が多く、内容に期待していたのだが、個々の記事ではそれぞれの事例紹介が中心で期待していた課題の深掘りができていない印象があり残念であった。(匿名希望)

■具体的な活用事例とともに理論面の解説が行われたことで、イメージがしやすく、かつ、とても参考になった。特に、「データの用意」についての具体的な方法論にふれていた記事も多く、個人的にとってもありがたかったです。(匿名希望/ジュニア会員)

小特集「牛とIT/ICT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ユーザ目線からの的確なコメントがとても参考になりました。(三木清一)

■大変、興味深かったです。特に一般の人の技術に関する本音がインタビューで聞けたのが良かったです。(匿名希望)

■「牛」に特化するという意外性ととも、農業、畜産業の実態が描かれていて興味深く思いました。これも小特集「ディープラーニング活用事例と使いこなしの勘所」と同様、事例の紹介に意味があるように思います。(田中 宏)

■とても面白かった。このような現場の話を読むのは純粋に楽しい。ツアーとか企画してほしいレベル。普通にもっと色々できそう。LED光らせるくらいできそうな気がするのだけど、やっぱり現場で使うとなるとハードル高いのかな。(土田修平)

■牛とIT/ICTは、一見関係のないように見えますが、ITと酪農が密接に関係していることがよく分かり、このように異分野連携に関する記事も良いと感じました。今後もITと何かという記事も読んでみたいです。(澤 佳祐/ジュニア会員)

■酪農へのITの導入状況を知る良い機会になった。農業、水産業、林業などの他業種の状況についても知りたくなった。(匿名希望)

■「牛とIT/ICT」では、恐らく一般の方がご存じない酪農の現状がさまざまな観点から述べられていました。酪農戸数の減少に伴い、1軒の農家が飼養する牛の頭数が増えており、きめ細かな管理が難しくなっています。それに対してICTを活用して酪農の運営を効率良く行う取り組みが進んでいることが肯定的に記載されていました。ただ、我々がやりがちなこととして、データばかりを見て牛そのものを見ない、ということにも警鐘を鳴らす記事もあり、非常にバランスの良い特集だと思いました。(除補由紀子)

■インタビュー記事は学会誌としては珍しい。ユーザの声を生々しく伝えたのが大変新鮮だったし、めったに聞けず、示唆に富む内容であったのもよかった。ただし、記事がやや長すぎた。(伊藤雅樹)

解説「クラウドネイティブ時代に振り返るコンテナのこれまでとこれから」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■どのような人間を読者と想定しているのか疑問であった。(匿名希望)

■大学で計算機について色々教える必要がありますが、クラウドネイティブとなると経験がありません。将来に向けてどうやって準備をしたらよいのだろうかと思いました。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

「新学習指導要領で求められる情報科教員の育成・採用・研修」
■新学習指導要領について新たな知見を今後も得たいと感じました。
(匿名希望/ジュニア会員)

■情報の教員免許に対する理解を最近に変えなければならぬことが分かりました。
(匿名希望)

「教材の公衆送信と著作権法改正」

■FD(ファカルティ・ディベロプメント)の適切な資料になると思います。
(牛島和夫)

■著作権法の変更点についてありがたい情報でした。著作権法は自分の都合のいいように解釈してしまうので、安全な事例と危険な事例を紹介してもらえるとありがたいと思います。
(匿名希望)

連載「先生、質問です!」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「先生、質問です!」を楽しみに読んでいます。ルビを振って貰えると助かります。
(真間龍哉/ジュニア会員)

■研究活動の全体像のイメージが持てて、非常に有意義だった。
(梅田直希/ジュニア会員)

連載「5分で分かる!? 有名論文ナナム読み: Ashish Vaswani et al.: Attention Is All You Need」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■有名論文ナナム読みは、毎回読んでみたかった論文が取り上げられるので、自分でその論文を読む際にも理解を助けてもらっています。
(匿名希望/ジュニア会員)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■今月は、ラーメン、恋愛相談を対象としたAIや、牛とICTといった、バラエティに富んだ記事が多くて、面白かった。著作権法改正の記事も役に立った。
(匿名希望)

■今回の特集はとても面白く、新しい知識を得られる特集でした。次回もゆくりと期待しています。(中込 椋/ジュニア会員)

■女性に焦点をあてた記事が読みたいです。
(匿名希望)

■ヒューマンエージェントインタラクションとゲームAIについて取り上げてほしい。
(高田亮介/ジュニア会員)

■AIの台頭に伴う社会の動向に興味があるので、今後ともこのような内容にフォーカスしてくださることを期待しております。
(山口隼平/ジュニア会員)

■訪日外国人から見た日本の変な慣習や驚いたシステムなど、ICT関連の文化差に関する話題に興味があります。
(匿名希望)

■金融業界のお客様の中で、ブロックチェーンを活用したサービスに関する話は前々から受けていたが、AIを使ったサービスを提案してほしいという声が増えてきたこともあるので、金融業界問わず、世界中の業種ごとに人気のあるサービス等を紹介するのが面白いのではないかと考える。
(野口晃司)

【本欄担当 山本岳洋, 伊藤将志/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後より良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「エージェント理論・技術とその応用」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-R.html	1月18日(金)		
	論文誌「エンタテインメントコンピューティング」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-V.html	1月21日(月)		
	デジタルプラクティス「働き方改革とIT」特集論文募集 https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1004s.html	2月5日(火)		
	論文誌「ユーザブルセキュリティ」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-Y.html	2月25日(月)		
	2019年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」 モニタ募集 https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2019monitor.html	2月28日(木)		
	論文誌「生き活きとしたスマートシティを実現する高度交通 システムとバーベイスシステム」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-D.html	3月29日(金)		
	論文誌「オープンイノベーションを加速するコラボレーション 技術とネットワークサービス」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-E.html	4月1日(月)		
	論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-C.html	5月7日(火)		
1月17日(木)～ 1月18日(金)	第215回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim215.html	11月13日(火)	当日のみ	京都テルサ
1月17日(木)～ 1月18日(金)	第122回プログラミング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro122.html	11月16日(金)	当日のみ	福山市ものづくり交流館
1月21日(月)～ 1月24日(木)	24th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC 2019) http://www.aspdac.com/aspdac2019/			日本科学未来館
1月24日(木)～ 1月25日(金)	ウィンターワークショップ2019・イン・福島飯坂 http://www.sigse.jp/2019/index.html	12月3日(月)	12月25日(火)	飯坂ホテル聚楽
1月24日(木)～ 1月25日(金)	第106回グループウェアとネットワークサービス・ 第24回コンシューマ・デバイス&システム・ 第21回デジタルコンテンツクリエイション合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn106c24d21.html	11月19日(火)	当日のみ	石垣市市民保健部 健康福祉センター
1月29日(火)～ 1月30日(水)	第171回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al171.html	11月29日(木)	当日のみ	大阪府立大学 I-site なんば
1月30日(水)～ 1月31日(木)	第226回システム・アーキテクチャ・ 第186回システムとLSIの設計技術合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc226slm186.html	11月25日(日)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月31日(木)～ 2月1日(金)	第177回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps177.html	12月26日(水)	Web ページ参照	つま恋リゾート彩の郷 (静岡県掛川市)
2月5日(火)	ソフトウェアジャパン 2019 https://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2019/index.html		1月22日(火) 当日可	学術総合センター・ 一橋記念講堂
2月7日(木)～ 2月8日(金)	第133回情報基礎とアクセス技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat133.html	12月14日(金)	当日のみ	龍谷大学大宮キャンパス 東豊 301 講義室
2月15日(金)	第83回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip83.html	12月22日(土)	当日のみ	京都佛敎大学 二条キャンパス
2月16日(土)	第119回人文科学とコンピュータ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch119.html	1月10日(木)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
2月16日(土)～ 2月17日(日)	第148回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce148.html	1月7日(月)	当日のみ	日本大学 文理学部
2月22日(金)～ 2月23日(土)	第122回音楽情報科学・ 第51回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus122ec51.html	12月20日(木)	当日のみ	関西学院大学 理工学部
2月26日(火)～ 2月27日(水)	第193回知能システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics193.html	1月14日(月)	当日のみ	別府国際コンベンション センター
2月27日(水)～ 2月28日(木)	第126回音声言語情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp126.html	1月9日(水)	当日のみ	ホテル磯部ガーデン (磯部温泉)
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第122回数理モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps122.html		当日のみ	湯布院公民館
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第76回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its76.html	1月11日(金)	当日のみ	金沢工業大学 白山麓キャンパス
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第104回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm104.html	1月11日(金)	当日のみ	沖繩セルラー電話 株式会社

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第145回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os145.html	1月16日(水)	当日のみ	函館コミュニティプラザ
3月4日(月)～ 3月5日(火)	第90回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・ 第61回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb190ubi61.html	1月7日(月)	当日のみ	東京大学 駒場IIキャンパス
3月5日(火)	第172回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al172.html	1月15日(火)	当日のみ	山形大学工学部 100周年記念会館 セミナールーム
3月5日(火)～ 3月7日(木)	第168回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc168.html	1月8日(火)	当日のみ	山代温泉瑠璃光
3月6日(水)～ 3月8日(金)	インタラクション2019 https://www.interaction-ipsj.org/2019/		当日可	学術総合センター
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第216回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim216.html	1月7日(月)	当日のみ	東邦大学
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第44回インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot44.html	1月8日(火)		ホテルグランドエクシブ 鳴門&ザ・ロッジ
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第147回情報システムと社会環境研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is147.html	1月14日(月)	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第201回ソフトウェア工学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se201.html	1月21日(月)	当日のみ	化学会館
3月8日(金)	第41回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi41.html	1月16日(水)	当日のみ	電気通信大学 UECアライ アンスセンター 100周年記念ホール
3月8日(金)～ 3月10日(日)	第9回アクセシビリティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac9.html	1月11日(金)	当日のみ	筑波技術大学 春日キャンパス
3月14日(木)～ 3月16日(土)	情報処理学会 第81回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/81/		2月8日 当日可	福岡大学 七隈キャンパス
3月17日(日)～ 3月18日(月)	第227回システム・アーキテクチャ・ 第187回システムとLSIの設計技術・ 第50回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2019) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc227sldm187emb50.html	1月14日(月)	当日のみ	西之表市民会館
3月18日(月)～ 3月19日(火)	第123回プログラミング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro123.html	1月18日(金)	当日のみ	東京大学 駒場Iキャンパス
3月18日(月)～ 3月19日(火)	第182回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/events/sig/182	1月21日(月)	当日のみ	明治大学中野キャンパス
8月28日(水)～ 8月30日(金)	The 14th International Workshop on Security (IWSEC 2019) https://www.iwsec.org/2019/index.html	3月15日(金)		Multi-Purpose Digital Hall, Ookayama Campus, Tokyo Institute of Technology, Tokyo, Japan
9月3日(火)～ 9月5日(木)	FIT2019 第18回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/			岡山大学 津島キャンパス

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月10日 論文誌「オープンイノベーションを加速するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集 論文募集
- 12月10日 第66回電気科学技術奨励賞受賞
- 12月3日 第81回全国大会講演申込の受付を12月7日まで延長しました
- 12月3日 論文誌「活き活きとしたスマートシティを実現する高度交通システムとパーベイシブシステム」特集 論文募集
- 11月30日 論文誌「エージェント理論・技術とその応用」特集 論文募集

人材募集 (有料会告)

申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公私立教育機関、国立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本誌 Web ページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内（土日祝日除く）に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■農業・食品産業技術総合研究機構

募集人員 パーマネント選考採用研究職員および任期付研究員 各若干名

専門分野/仕事内容 農研機構 農業情報研究センターにおけるビッグデータを活用したスマート農業研究

(1) AI技術と農業情報を活用し、農研機構内外の研究者との連携したAI研究プロジェクトの企画立案と研究の実施（パーマネント研究職員および任期付研究員）

(2) 上記農業AIに関する研究プロジェクトの技術的マネジメント（パーマネント研究職員）

キーワード：人工知能（AI）、ビッグデータ、機械学習、システム設計

応募資格 ①博士の学位を有する方（取得見込者含む）、または博士号取得と同等の能力を有する方

②多変量解析、機械学習など情報処理の経験を有すること

着任時期 応相談 採用決定後早期

提出書類 ①エントリーシート、②これまでの研究内容の要約、③研究業績リスト、④主要な原著論文別刷5編以内、⑤抱負、⑥推薦書、⑦顔写真

応募締切 随時受け付けています。ただし、雇用予定者が決定次第、予告なく募集を終了します

送付先 E-mail: saiyoh@naro.affrc.go.jp

メールタイトル

(パーマネント)：P10-氏名 例：P10-農研太郎

(任期付)：N10-氏名 例：N10-農研太郎

照会先 農業・食品産業技術総合研究機構本部人事部採用担当 E-mail: saiyoh@naro.affrc.go.jp

その他 公募のWebページ (<http://www.naro.affrc.go.jp/acquisition/index.html>)

上記Webページの公募要領をよく読み、所定の様式を使用してください

■ピクシーダストテクノロジーズ（株）

募集人員 研究員・ポスドク相当、研究管理者相当、研究開発・技術者相当 若干名

専門分野 ホログラム技術、波動学、超音波工学、レーザー光学、電気電子工学、計測工学、計算機科学、機械学習、VR/AR、人間拡張工学

応募資格 上記のいずれかの学問分野において、博士の学位もし

くはそれと同等の業績を有し、革新的技術開発を単独もしくはチームで推進することのできる方

着任時期 採用確定後、相談により決定（できるだけ早い時期が望ましい）

提出書類 履歴書、研究業績リスト

応募締切 2019年2月20日（予定）

送付先 Webページ (<https://recruit.jobcan.jp/pixiedusttech/show/b001/18595>) よりエントリーをお願いします（氏名、生年月日、専門、E-mailアドレスを入力。履歴書、研究業績リストを添付）

照会先 採用担当 E-mail: hr@pixiedusttech.com

その他 書類選考後、面接を行います

■大妻女子大学社会情報学部情報デザイン専攻

募集人員 教授または准教授 1名

専門分野 情報ネットワークサービス、情報デザイン、IoTなど

担当科目 情報ネットワーク論および実習I、II、ソフトウェア概論、プログラミング論および演習、コンピュータの基礎、ゼミナール、卒業研究の指導など

応募資格 出身学部は問わないが、博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の教育・研究業績があり、教育・研究・学生指導に強い熱意があること

着任時期 2020年4月1日

提出書類 (1)履歴書（本専攻指定の書式に準拠し、押印のこと）、(2)研究業績リスト、[学術論文、国際会議（査読の有無を明記）、解説、著書、教科書、その他を区分する]（本専攻指定の書式に準拠のこと）、(3)主要論文5点の別刷各1部（コピー可）、[その要旨を各A4用紙300字程度にまとめて添付すること]、(4)着任後の教育・研究に関する抱負（A4用紙1,200字程度）、(5)応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の名前とその連絡先

応募締切 2019年3月18日（当日消印有効）

送付先/照会先 〒102-8357 東京都千代田区三番町12

大妻女子大学社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻

主任 松田晃一 宛 E-mail: sh-saiyou24@ml.otsuma.ac.jp

簡易書留にて「教員応募書類在中（情報系）」と朱書して郵送

その他 詳細や書式など：<http://www.otsuma.ac.jp/recruits>



FIT2019 第 18 回情報科学技術フォーラム 選奨論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2019年9月3日（火）～5日（木）

会 場：岡山大学 津島キャンパス（岡山県岡山市北区津島中1-1-1）

FIT2019 Web ページ <https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/>

受付期間(予定)：2019年4月2日（火）～5月8日（木）

- ◆論文ページ数：2～8ページ程度
- ◆講演時間：20分
- ◆3ページ目以降は追加ページ代（4,000円/ページ）が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ（ISS）並びにヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）と情報処理学会（IPSJ）とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2019年9月には第18回目を岡山大学で開催します。本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込主要日程（予定）

登録申込/投稿受付開始：2019年4月2日（火） → 登録申込締切：2019年5月8日（木）

最終掲載原稿：2019年6月21日（金）

※ FIT2017 より、査読付き論文は廃止とし、選奨論文制度を取り入れました。

※ 登録申込と原稿投稿は上記のFIT2019Webページよりお願い致します。詳細は決定次第 Webページでお知らせ致します。

●表彰

FITには、以下の表彰制度がありますので是非ともチャレンジして下さい。

いずれの賞も、電子情報通信学会又は情報処理学会の会員であることが受賞条件となりますのでこの機会に是非御入会下さい。

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査の上 3 件選定。賞金は船井情報科学振興財団より 20 万円贈呈。
FIT 論文賞	選奨論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査の上 7 件程度選定。賞金は FIT 運営委員会より 5 万円贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	2019 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者（選奨論文および一般論文）の中から、発表件数の 1.5% を上限として選定。賞金は FIT 運営委員会より 3 万円贈呈。本賞受賞は本人に対し一回のみ。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定（該当なしもあり）。FIT 終了後に賞状を贈呈。

●選奨論文（4～8 ページ程度）

研究会取り扱い分野をよく御確認のうえ御自身の論文内容と一致した研究会を、申込者御自身の責任において適切に選択して下さい。船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞への審査を希望する場合は、Web からの講演申込みの際に必ず論文形式で『選奨論文』を選択して下さい。但し、賞を前提とした論文形式となりますので、電子情報通信学会又は情報処理学会の会員であることが投稿条件となります。非会員の方は御入会手続きをお済ませの上御投稿下さい。選奨論文は FIT 初日の選奨セッションに組み込まれ、各セッションにて選奨委員 2 名による 1 次審査を行います。1 次審査の結果は当日の夕方までに大会会場に掲示されます。2 次審査は FIT 終了後実施され、上位 3 件が船井ベストペーパー賞、次点 7 件程度が FIT 論文賞の受賞となります。

※4 ページ以上の投稿が必須ですが、3 ページ目からは追加ページ代（4,000 円/ページ）が発生します。例えば 6 ページ投稿の場合、4 ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000 円×4=16,000 円」の追加費用が必要となります。

●一般論文（2～8 ページ程度）

研究会取り扱い分野をよく御確認のうえ御自身の論文内容と一致した研究会を、申込者御自身の責任において適切に選択して下さい。

※3 ページ以上の投稿される場合は、3 ページ目からは追加ページ代（4,000 円/ページ）が発生します。例えば 4 ページ投稿の場合、2 ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000 円×2=8,000 円」の追加費用が必要となります。

●論文誌推薦制度

選奨論文の中から船井ベストペーパー賞の審査を通して優秀な論文と判断されたものを、FIT プログラム委員会が電子情報通信学会または情報処理学会（FIT 講演申込フォームの講演応募分野（研究会）で選択した研究会が属する学会）の論文誌へ推薦します。掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定しますので、論文誌への投稿の際には、投稿先論文誌編集委員会の評価基準を満足しうる、完成度の高い論文に仕上げて頂くことをお勧めします。なお、推薦を辞退することも可能です。

●問合せ先（FIT2019幹事学会）

〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4 階

情報処理学会 事業部門 TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375 E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

情報処理学会 第 81 回全国大会 イベント企画のみの聴講参加は「無料」!!

事前申込はこちらから⇒ <https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/81/>

ぜひ皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください

第 81 回全国大会 聴講事前申込のご案内

『IT が支える超情報社会』

大会会期：2019年3月14日（木）～16日（土）

大会会場：福岡大学 七隈キャンパス（福岡県福岡市城南区七隈）

後援：九州大学，全国高等学校情報教育研究会，福岡県教育委員会，北九州市教育委員会

情報処理学会第81回全国大会の「大会聴講参加」の事前申込を開始します。

- 第1～6 イベント会場・特別会場において開催される「特別講演／招待講演／イベント企画／各種展示」を聴講・ご覧になる場合
→「大会イベント企画限定聴講参加」（無料）
- 上記に加え、「一般セッション／学生セッション」を聴講する場合
→「大会共通聴講参加」（有料）

イベント企画のみ聴講希望の方は，大会 Web ページから事前申込みをする際，「大会イベント企画限定聴講参加」にお申し込みください。通常の一般セッション・学生セッションも聴講希望の場合は，「大会共通聴講参加」にお申し込みください（聴講参加費は有料となります）。

事前申込受付期間：2018年12月7日（金）～2019年2月8日（金）

招待講演・特別講演企画【聴講参加無料】：招待講演4件，特別講演5件を予定しております。

招待講演-1	15日（金）15：30～16：00	未定（The Korean Institute of Information Scientists and Engineers）
招待講演-2	15日（金）16：00～16：30	未定（CEO, China Computer Federation）
招待講演-3	15日（金）16：30～17：00	未定（Association for Computing Machinery）
招待講演-4	15日（金）17：00～17：30	未定（IEEE Computer Society）
特別講演	14日（木）15：00～16：00	「人工知能とゲーム理論」 横尾 真（九州大学教授）
	14日（木）16：00～17：00	「データから幸福度を測る研究紹介（仮）」 矢野和男（（株）日立製作所）
	15日（金）9：30～10：30	「離散構造処理系プロジェクト：10年の研究経過と今後の展開」 湊 真一（京都大学）
	15日（金）10：30～11：30	「量子コンピュータとその実用化動向」 小野寺民也（日本アイ・ピー・エム（株））
	16日（土）15：30～17：30	IPSJ-ONE

イベント企画【聴講参加無料】：各イベント企画では，その分野の最前線で活躍されておられる方をお招きし，講演・パネル討論等の開催を予定しております。

第1 イベント会場 A棟 2F A201 教室	14日 9：30～11：30	「来たれ！ワークライフバランス伝道師」
	14日 12：30～15：00	「機械学習システムのセキュリティ」
	16日 9：30～12：00	「小中高で必修化されたプログラミング教育 ～高校は「情報I」「情報II」が新設へ」
	16日 15：20～15：20	「Exciting Coding! Junior ファシリテータ講習」
第2 イベント会場 A棟 B1F AB02 教室	14日 9：30～11：30	「高大接続のための情報プレースメントテスト」
	14日 12：30～15：00	「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」
	15日 12：30～15：00	「論文必勝法」
	16日 9：30～12：00	「データを活かすサービス・プラットフォームのデジタル戦略」
	16日 13：20～15：20	「ブロックチェーンによるイノベーションの展望と課題～デジタルプラクティスライブ」
第3 イベント会場 A棟 2F A202 教室	14日 9：30～11：30	「2018年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」
	14日 12：30～15：00	「福岡大学の公開用NTPサービスから考える，インターネットサービスの歴史と未来（仮）」
	15日 12：30～15：00	「～コンピュータバイオニアが語る～「私の詩と真実」」
	15日 15：00～17：30	「7th IPSJ International AI Programming Contest SamurAI Coding 2018-19 World Final」
	16日 9：30～12：00	「国際認定を受けたCITP制度とCITPの活動」
	16日 13：20～15：20	「先生質問です！」公開セッション」

第4 イベント会場 A棟 2F A203 教室	14日 12:30～15:00	「ITとAIが変える働き方の未来～クラウドソーシング、シェアリングエコノミー、ギグエコノミー～」
	15日 12:30～15:00	「物理モデリングによるシームレスな仮実相互接続」
	16日 9:30～12:00	「生命科学関連領域におけるビッグデータとデータ分析の事例」
	16日 13:20～15:20	「Web広告の技術と運用」
第5 イベント会場 8号館 1F オアシス	14日 15:00～18:00	「情報系エンジニア キャリア研究セッション」
	15日 15:00～18:00	「情報系エンジニア キャリア研究セッション」
	16日 13:20～15:20	「中高生ポスターセッション」
第6 イベント会場 8号館 2F 826 教室	14日 12:30～17:00	「RoboCup シミュレーションリーグ春季競技会・講習会 競技予選・ポスターセッション」
	15日 9:30～11:30	「RoboCup シミュレーションリーグ春季競技会・講習会 競技予選」
	15日 12:30～17:30	「RoboCup シミュレーションリーグ春季競技会・講習会 講習会」
	16日 9:30～15:20	「RoboCup シミュレーションリーグ春季競技会・講習会 競技決勝」

一般セッション・学生セッション【聴講参加 有料】：

約1,400件の研究成果発表があります。大会3日間でおおよそ30会場を使用して、190あまりのセッションが生まれ、活発な発表、議論・討論が行われます。

懇親会【有料】：

毎回多数の方にご参加をいただき親睦を深めております。当日申込のみとなります。

開催日時：2019年3月15日（金）18:00～20:00（予定）

開催会場：福岡大学 七隈キャンパス内（予定）

■聴講参加費・講演論文集代・懇親会参加費（税込）

申込種別	予約価格（2/8迄）	当日
大会イベント企画限定聴講参加	無料	無料
大会共通聴講参加（正会員）*全論文のPDFアクセス権付	9,000円	10,000円
大会共通聴講参加（一般非会員）*全論文のPDFアクセス権付	15,000円	17,000円
大会共通聴講参加（学生会員・ジュニア会員・学生非会員）	無料	無料
懇親会参加 一般（正会員・一般非会員）	-	5,000円
懇親会参加 学生（学生会員・学生非会員）	-	3,000円
懇親会参加 学生（ジュニア会員）	-	1,000円
講演論文集分冊（個人・法人問わず）	13,000円（送料込）	14,000円
講演論文集セット *DVD-ROM 1枚付き（個人・法人問わず）	60,000円（送料込）	66,000円
講演論文集 DVD-ROM（個人）	10,000円（送料込）	
講演論文集 DVD-ROM（法人）	60,000円（送料込）	

■留意事項

※「大会イベント企画限定聴講参加」は、特別講演、招待講演、イベント企画、各種展示のみ聴講参加可能です。一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

一般セッション・学生セッションも聴講参加希望の場合には、大会共通聴講参加（有料）のほうにお申し込みください。

※「大会共通聴講参加」は、一般セッション・学生セッションを含む大会すべてのセッションの聴講参加が可能です。

※DVDは大会参加者限定で会場特別販売（5,000円）いたします。

※講演論文集、DVD-ROM共に、大会開催前の事前発送は致しておりません。受取りは大会終了後の郵送となります。当日会場でも販売いたします。

※講演参加申込の方、座長の方、イベント企画者および登壇者は聴講参加申込は不要です。聴講参加をお申し込みになりますと二重申込となりますのでご注意ください。

■聴講参加および講演論文集の予約申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

第81回全国大会公式 Web サイト <https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/81/>

■問合せ先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館 4F

一般社団法人情報処理学会 事業部門

電話 (03) 3518-8373

FAX (03) 3518-8375

E-mail: ipsjtaikai@ipsj.or.jp

ソフトウェアジャパン 2019 開催のご案内

『ビッグデータ、IoT、AI でプロフェッショナルを生き残れ』

<https://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2019/>

開催日時：2019年2月5日（火） 9：30～17：30 [開場・受付開始9：00～]

開催会場：学術総合センター・一橋記念講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A9 出口）徒歩 3 分

主催：一般社団法人 情報処理学会

共催：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、日本ソフトウェア科学会機械学習工学研究会

協賛：一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人日本統計学会、Tokyo.R、一般社団法人日本計量生物学会、日本計算機統計学会、一般社団法人照明学会、公益社団法人自動車技術会、一般社団法人電気学会、一般社団法人情報通信技術委員会、応用統計学会、CBI 学会、公益社団法人日本技術士会、一般財団法人インターネット協会、一般社団法人情報サービス産業協会、一般社団法人電子情報通信学会、特定非営利活動法人日本バイオインフォマティクス学会、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人電子情報技術産業協会、国立研究開発法人情報通信研究機構、先端 IT 活用推進コンソーシアム、国立情報学研究所、Open Source People Network、一般社団法人人工知能学会、一般社団法人日本ソフトウェア科学会、一般社団法人 Ruby の会

後援：独立行政法人情報処理推進機構、文部科学省、総務省、経済産業省

概要：報処理学会では、IT プロフェッショナル（実務家）のためのシンポジウムとして、2004 年度から毎年度「ソフトウェアジャパン」を開催し、多数の企業・大学等から多くの方にご参加いただいております。昨年度開催いたしました本シンポジウムでは、延べ 643 名のご参加を頂きました。

本年は、「ビッグデータ、IoT、AI でプロフェッショナルを生き残れ」をメインテーマに、データ関連 3 技術分野の専門家をお招きして、現在の実務家にとっての 3 技術の価値とその付き合い方を理解するための講演をしていただきます。基調講演には群馬大学の小木津武樹准教授をお招きし、神戸市で行われた「ラストマイル自動運転移動サービス」の実証実験の報告をいただきます。一日を通して行われるセッションでは、ビッグデータからはビジネスへの展開や新規分析プラットフォームについて、IoT からは高度 IoT 技術学習と人材育成について、AI からは機械学習システムの開発・運用、生産性や品質の向上に関する講演をいただきます。また、パネルディスカッションでは司会に株式会社 Preferred Networks Fellow 丸山宏氏をお招きして、データ関連 3 技術に関する議論を企画しています。

また、本シンポジウムでは「IT フォーラムセッション」を設け、専門課題を議論する場を設けます。

データ関連 3 技術は、想像を超えて各種業務を変革しています。ビッグデータ、IoT、AI を積極的にご自身の専門に取り込むことでプロフェッショナルを生き残る戦略策定を本シンポジウムはお手伝いします。

本イベントは、CITP『CPD プログラム受講証明書』発行対象イベントです。

参加費：

	申込区分	事前申込（税込）	当日価格（税込）
午前：IT フォーラムセッション	不問	無料	無料
午前：ビッグデータ特別セッション	1. 一般	1,000 円	1,000 円
	2. ジュニア会員	無料	無料
午後：メインセッション	1. 情報処理学会会員（正会員・賛助会員）、関連学協会、共催団体、協賛団体	10,000 円	11,000 円
	2. 一般非会員	15,000 円	16,000 円
	3. 学生 一律（社会人学生は対象外）	1,000 円	1,000 円
	4. ジュニア会員	無料	無料

参加申込：標記の Web サイトから事前申込をお願いします。

参加申込締切：2019年1月22日（火） *メインセッション、IT フォーラムセッションとも定員になり次第締切

問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail: event@ipsj.or.jp

■メインセッション プログラム（13：30～17：30）[会場：一橋講堂]

13：30～13：40	オープニング 西尾章治郎（情報処理学会 会長／大阪大学 総長）
13：40～17：30	第1セッション：キーノートセッション
13：40～14：25	基調講演：「自動運転の社会実装に向けた取り組み～公道実証実験の成果を受けて～」 小木津 武樹（群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長）
14：30～14：55	IoT セッション (1) 「IoT 人材育成の課題」 岡崎 正一（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 人材育成委員会 席上顧問）
15：00～15：25	IoT セッション (2) 「市場にみる IoT、AI の実践」 竹井 俊文（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）顧問 兼 AI 講師責任者）

15:30～15:55	AIセッション (1)「AI / Deep Learning を活用した気象データ予測への新たな取り組み」 石橋 知博 (株式会社ウェザーニューズ 執行役員 BtoS 事業販売主責任者)
16:00～16:25	AIセッション (2)「機械学習応用システムのためのソフトウェア工学の深化」 石川 冬樹 (国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 准教授)
16:35～17:30	第2セッション：パネル討論「ビッグデータ、IoT、AI でプロフェッショナルを生き残れ」
	司 会：丸山 宏 (株式会社 Preferred Networks PFN フェロー) パネリスト：里 洋平 (DATUM STUDIO 株式会社) / 村田 賢太 (株式会社 Speec) / 小木津 武樹 (群馬大学) / 岡崎 正一 (モバイルコンピューティング推進コンソーシアム) / 竹井 俊文 (モバイルコンピューティング推進コンソーシアム) / 石橋 知博 (株式会社ウェザーニューズ) / 石川 冬樹 (国立情報学研究所) / 高橋 克巳 (NTTセキュアプラットフォーム研究所)
17:30～17:35	クロージング
17:40～19:10	情報交換会 (懇親会) ソフトウェアジャパンアワード 表彰式 / デジタルプラクティス論文賞 表彰式

■ビッグデータ特別セッションプログラム (09:30～12:30) [会場：一橋講堂]

「ビッグデータ、IoT、AI でプロフェッショナルを生き残れ」	
【セッション概要】「ビッグデータ、IoT、AI」が今日のデジタル社会のキーワードとなって久しいです。ややもすれば、仕事なくなる、消えていくと語られることも多いです。しかし、現在の変動する社会で「消えていく、なくなる」のではなく、「主流として生き残る」ために、必須の武器にもなります。本セッションでは、これらを企業の発展や自らのキャリアアップにどうつなげ、展開していくかという観点から、議論を試みます。今回のソフトウェアジャパン2019は、2018年4月に発足した「ビッグデータ研究グループ」が中心となり、全体企画を担当し、支援します。本セッションでは、「ビッグデータ研究グループ」の主要メンバーやその関係者から、特にビジネスへの展開や、データ分析新規プラットフォームの開発などを実践しているメンバーにより、その実践内容を紹介します。	

■ITフォーラムセッションプログラム (09:30～12:30) [各会場]

サービスサイエンスフォーラム：『サービスの価値を高める』具体的な方法論を創作する	
【セッション概要】日本のGDPの75%は、サービス産業が稼いでおり、サービス産業が日本の産業の中心になっていることが分かる。コールセンターや介護などのサービスに従事しているスタッフは、高い顧客満足を目指し、膨大な業務量をこなしてきた。その結果、顧客満足は向上し、業務の生産性も高まってきている。しかし、サービススタッフの待遇の改善は遅々として進んでいない。これからは「サービスの価値を高める」ことにより注力し、サービス産業の収益性を高めて、社会にとってかけがえのないサービスに従事している人たちに、豊かになってもらわなければならない。 サービスサイエンスフォーラムでは、「サービスサイエンスと幸福学をつなぐ」、「サービスの価値を高めるサービスプロセスモデル」、「サービスの価値を高めるカスタマジャーニ」を3名の有識者に紹介してもらい、パネルディスカッションで議論を深めたい。	
コンタクトセンターフォーラム：「これからのAI時代における働き方改革」	
【セッション概要】コンタクトセンター業界では人材確保が難しい状況の中、顧客と企業をつなぐ接点の重要さも企業経営からは要望されています。AIの進化と活用により顧客接点業務効率化、コンタクトの増加により顧客体験の向上を実現する事例が出てきました。AIが進む中、働く人たちのやりがい、人材育成はどのようにすべきか事例発表とディスカッションを予定しています。	
CITPフォーラム：「企業価値を向上させ社会価値を創造する実践的IT人材」	
【セッション概要】未来投資戦略では、Society5.0実現のため「データ」と「人材」を活用したオープンイノベーションの推進、データ駆動型社会への変革が宣言された。情報処理学会の認定情報技術者(CITP)制度によって認証された実践的IT人材が求められる時代になってきた。CITPとは「実行力のある高度IT人材」を認証された人材である。この実行力を生かし、AIなどの新しい技術を活用して、社会が必要とする価値を創造することで、その力を発揮することができる。CITPコミュニティは、IT人材が新しい技術にチャレンジする機会を作り、企業間交流による価値の創造、プロフェッショナル貢献に寄与している。業務を通じた会社への貢献だけでなく、自身の価値を高め、社会へ貢献していくことも必要である。専門的能力と社会の変化に対応し、超スマート社会を牽引する実践的なIT人材によるコミュニティ活動を紹介する。 ※本フォーラムの発表はCITP認定者の他に一般の方もご聴講いただけます。	
AITC 先端IT活用推進コンソーシアム (関連団体)：「ビッグデータ、IoT、AIのその次へ協働プロジェクト『空気を読む家』」	
【セッション概要】ビッグデータ、IoT、AIなど様々な先端ITが人々の生活に密着した存在となっています。先端ITの活用推進活動を行うAITCでは、先端ITが生活上の課題を解決する『空気を読む家』というビジョンを掲げ、『玄関』、『寝室』、『リビング』を『建築』してきました。今回は『キッチン』に纏わる課題を先端ITで解決するチャレンジについてデモも交えて紹介します。	

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 変形判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 250mm × 左右 180mm
(1/2 ページ) 天地 120mm × 左右 180mm
(1/4 ページ) 天地 55mm × 左右 180mm
* A4 変形判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

2019 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。
◇記事に対する評価 ◇記事に対する感想 ◇意見 ◇記事テーマの提案 ◇そのほか全般的な意見・提案など
注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)。*最長 3 年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」60 巻 5 号～61 巻 4 号、および年に 4 回 Web ページ (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/> (PDF 版)) (<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/index.html> (HTML 版)) にて公開される「デジタルプラクティス」(電子版のみ)。

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 **2019 年 2 月 28 日 (木) 必着**

*申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

* Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2019monitor.html>) でも受け付けています。

そ の 他 ジュニア会員で、会誌(冊子体)の送付を希望される方には、モニタ期間中会誌を送付いたします。

(先着 50 名、アンケート (12 回) に必ず回答いただくことを条件とします)

希望する場合は、申込書の要望欄に「会誌送付希望」とお書きください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

2019 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (小・中・高校・高専・大学・大学院など)
(e) 学生 (f) 学生 (ジュニア会員) (g) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教職員 (小・中・高校・高専・大学・大学院など) (h) 学生 (i) 学生 (ジュニア会員) (j) その他

要望, コメントなど:

ご意見をお寄せください！

【2月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他…………… 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2019年2月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：デジタル機器、誰もが買った日から使える機器であってほしい…………… 10-1- []
- 特別解説：粗悪学術誌／国際会議について…………… 10-2- []
- IT好き放題：北海道胆振東部地震と情報…………… 10-3- []
- 特集：社会を変える IoT
1. 国内外における IoT による社会変革・サービス創出の取り組み…………… 10-4- []
 2. 介護現場での IoT/ICT 利活用…………… 10-5- []
 3. 水産業を支援する IoT サービス構築…………… 10-6- []
 4. 佐賀有明海域ノリ養殖での AI・IoT・Robot 実証実験…………… 10-7- []
 5. IoT を活用した勝ち残る養豚経営…………… 10-8- []
 6. IoT 子ども見守りシステム…………… 10-9- []
- 報告：独創的な人向け特別枠 異能 (Innovation) プログラム紹介…………… 10-10- []
- 解説：情報学者が競馬予想に踏み出すときに知っておくべきこと…………… 10-11- []
- 連載：集まれ！ジュニア会員！！…………… 10-12- []
- 情報の授業をしよう！：「問題解決」のススメ…………… 10-13- []
- リレーコラム：情報処理技術が支援するアニメ制作…………… 10-14- []
- ピブリオ・トーク：世界の不思議な音…………… 10-15- []
- 5分で分かる!? 有名論文ナメ読み：Ling, B. and Intille, S. S.: Activity Recognition from User-Annotated Acceleration Data…………… 10-16- []
- べた語義：ラーニングアナリティクスが当たり前になる日のために…………… 10-17- []
- べた語義：実課題 PBL による人材育成…………… 10-18- []
- 会議レポート：SICE Annual Conference 2018 会議報告…………… 10-19- []
- 会議レポート：JSST2018 参加報告…………… 10-20- []
- 連載漫画：IT 日和…………… 10-21- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事…………… 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 [12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] 社会を変える IoT：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可，著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，ア krediteーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアジャパン，その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

総務省 IoT サービス創出支援事業に参加させていただいて事業参加者の方と議論をさせていただく機会があり、その中でIoTの進歩の速度や適用される幅の広さと市場の広がりを実感させていただきました。

今回の特集は、この現状を読者に伝えたいと思い企画させていただいた結果、掲載させていただくこととなったものです。企画を進めるにあたって困ったことは、適用されている分野が広すぎてすべてを網羅することができなかつたことです。数件に絞る必要があり、どれを選べばよいのか悩みました。たとえば、医療での適用状況や自転車等のシェアリング、そしてIndustry 4.0で代表される工場での成果等、今回取り上げることができな

かつたものが多数存在します。そのため、きちんとIoTの社会への浸透の状況をお伝えできたか不安ですが、IoTの勢いをその一端でも感じていただければ幸いです。

原稿をタイムリーに提供いただいた著者の皆様には心より感謝します。また、編集委員、事務局の皆様のご協力により、企画を完成させることができました。ありがとうございました。

IoTは5Gの実用化により、今後社会への浸透の速度を速めると考えられます。また、今までできなかった大量のデータを送ることが可能となるため、これまでとは異なったサービスも提供されるようになるでしょう。今後の進展を夢見つご一読いただければ幸いです。
(袖美樹子/本特集エディタ)

次号(3月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」水産業と情報処理

水産業が抱える課題とICTへの期待/水産ICTから水産クラウドへ/漁業現場におけるパートナーとの共創/インドネシアの漁業者との共創—漁業システムのデザイン—/スマート水産データベースへの期待—データ連携が実現する持続可能な水産業—/定置網漁業における働き方改革に向けた魚種判別手法の開発/瀬戸内海西部の笠戸島における赤潮監視の取り組み/水産業支援のための画像処理技術とその利用/海岸工学における漁業ビッグデータの活用

学会活動報告: IFIP—情報処理国際連合—近況報告 村山優子

教育コーナー: ペタ語義

連載: IT日和/5分で分かる!?有名論文ナメ読み/集まれ!ジュニア会員!!/情報の授業をしよう!/先生、質問です!/ビブリオ・トーク

コラム: 巻頭コラム/シニアコラム: IT好き放題/リレーコラム

会議レポート: ACM SIGIR2018 参加報告/MobileCHI 会議報告



詳しくは <https://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます。

会員募集中!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel:(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail: mem@ipsj.or.jp

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人 学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)	
差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 60巻2号 掲載広告 (五十音順)

- インタフェース 表2 日立製作所 表4
 オーム社 表2対向 フォーラムエイト 目次前
 産業技術大学院大学 前付最終上
 とめ研究所 前付最終下 すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 -) _____

TEL () - FAX () -

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world
NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルート

Google

グーグル合同会社

docomo

(株) NTTドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TTC
Telecommunication
Technology
Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT DATA

NTTデータ (株)

GREE

GREE (株)

Rakuten

楽天 (株)

IA japan

(一財) インターネット協会

ISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTTコムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTTテクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

SANBI

三美印刷 (株)

SEPTENI

(株) セプテーニ

SONY

ソニー (株)

team Lab

チームラボ (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。
レコチョク

(株) レコチョク